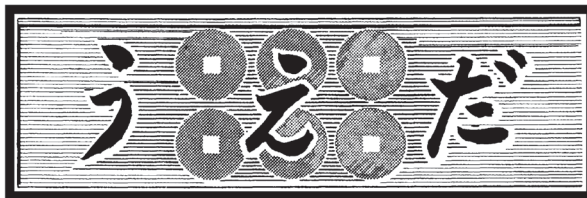




# 楽 亭



第107号  
2024年  
(令和6年)  
1月1日  
(月曜日)

=発行=  
上田高等学校関東同窓会  
発行人/会長 矢島基美 (72期)  
編集人/編集長 中村和久 (75期)  
事務局/幹事長 平林一央 (75期)  
〒103-0027 東京都中央区  
日本橋 3-2-14 日本橋 KNビル4F  
Tel 03-5201-3979 Fax03-5201-3712

上田高等学校関東同窓会会報 題字は故稲垣征夫氏 (14期)

## 1月20日(土) 新年会で新たな力を!



「この度は演奏の機会をいただき、大変嬉しく思います。皆様に楽しんでいただけますよう、バラエティーに富んだプログラムをご用意  
関東同窓会では1月20日(土)に東京都千代田区一ツ橋の日本教育会館・喜山倶楽部で新年会を開催します。今回の演奏会は、さまざまなオーケストラで打楽器奏者として活躍している115期の小林公哉さんが、ビブラフォンとスネアドラムを奏でます。  
小林さんは、使用楽器について「ビブラフォンという鍵盤打楽器を中心に演奏をさせていただきま

♪ 神秘的で優雅な音色  
小林公哉さん(115期)の  
ビブラフォン演奏 ♪

す。金属で作られた音板に、ファンの風が当たることによって、音が振動(ビブラート)することが特徴的です。神秘的で優雅な音色をお楽しみください」と説明、  
演奏会の後の懇親会はコロナ禍から明け、4年ぶりに立食形式を予定しています。  
でしよう。

「プロフィール」  
1. 高校卒業年 2017年  
2. 卒業大学 東京藝術大学  
3. 出身地 上田市真田町傍陽  
4. 出身中学 上田市立真田中学校  
5. 高校時代所属班 吹奏楽班  
6. 演奏する楽器との出会いから現在  
小学校の金管バンドにて、9歳より打楽器を始める。東京藝術大学卒業、同大学院修士課程に在学中。打楽器を萩原松美、佐藤美和、杉山智恵子、藤本隆文の各氏に師事。第1回サントミューゼ新進演奏家リサイタルオーディションにて優秀賞を受賞。第38回打楽器新人演奏会にて最優秀賞と審査員特別賞(第2位)を受賞。神奈川フィルハーモニー管弦楽団、東京佼成ウインドオーケストラ、名古屋フィルハーモニー交響楽団、富士山静岡交響楽団、群馬交響楽団、パシフィックフィルハーモニア東京などのオーケストラに打楽器奏者として賛助出演。U演奏家協会会員。

演奏のピアノは桐朋学園大学大学院音楽研究科音楽専攻修士課程修了、山口静夏さんです。新しい年に当たり、私たちに新たな力を届けてくださるような演奏となる

2024年 新年会

【日時】 2024年 1月20日 (土)  
15:00 受け付け開始  
15:30~18:30 演奏会、懇親会

【会場】 東京都千代田区一ツ橋 2-6-2  
日本教育会館 9階 喜山倶楽部

【会費】 6,000円 (100期以降は4,000円)、学生無料

【交通】 地下鉄三田線・新宿線・半蔵門線  
神保町駅 A1・A8・A9 出口 徒歩 3分  
地下鉄東西線竹橋駅 1B 出口 徒歩 4分

年会費の納付をお願いします  
幹事長 平林一央 (75期)

会報107号が出来上がりました。24ページ、フルカラー、じっくりお楽しみください。  
この会報発行を含めて関東同窓会の活動は、会報をご覧になっている会員の皆様からの年会費で支えられています。言うまでもありません。  
会報発行は支出が大きい活動の一つですが、今の物価高騰で、印刷、製本、送付など、発行に関わるほとんどの分野で値上げが発生し、更なる費用増加を招いております。  
一方で、皆様からの年会費納付は、残念ながら、まだまだ少ないのが現状です。  
会報は年会費の納付に関わらず、会員の皆様へお配りしており、その数は5,000部を超えています。会報をご覧になっている年会費未納の会員の皆様、ぜひ、年会費の納付をお願いいたします。  
会費納付は同封の振込用紙、または銀行振込でお願いして参りましたが、郵便局に向くのが大変であるとのご意見にお応えして、専用のホームページからクレジットカードでの納付も可能になりました。ぜひ、ご利用ください。(関東同窓会ホームページのご案内「年会費等のクレジットカード納入」をクリックいただいで手続きできます)

# 新たな時代に向けた新たな同窓会活動の取り組み

## 関東同窓会会長 矢島基美 (72期)



第62回総会で挨拶する矢島会長

直撃するのみならず、労働力人口の大幅な減少をもたらす、特に人口減が顕著な地方にあつては、地域社会そのものの存続を危うくすることにつながるはずだ。

同窓会の組織や活動もまた、その例外ではありません。会員が高齢化する一方で、新規会員数が右肩下がりになるからです。そのうえ、価値観が多様化するなか、同窓であることの意義も薄らぎつつあるようです。かりに集まりをもつたとしても、同級会またはごく親しい友人たちによるか、課外活動のOB・OG会の単位にとどま

皆様におかれましては、清新な思いを胸に、新たな年をお迎えのことと拝察申し上げます。

それにしても、寄る年波のせい

か、日月の過ぎゆく速さに驚かされます。まさに、人生は長く、しかし、一炊の夢のごときものな

かもしません。

そこまで巨視的に捉えれば、物事はすべて、さほどのものとは思えなくなりま

す。それでも、日本社会が迎えようとしている未曾有の人口減少は格別です。先般も、2040年の人口推計が公表され、たとえば18歳人口は約88万人になると報じられたところ

す。それは高等教育機関の経営を

いくらか改めることにしました。その新たな委員会体制のもと、多様な会員の意向やニーズを探りつつ、従来のイベントに工夫を加えたり、新たな企画を用意したりできればと念じています。たとえば総会や新年会でさえ、同期もしくは同級が集まる貴重な場として活用することも考えられます。また、会員に対する情報提供においても、インターネットを最大限に活用することで、より使いやすく、有益かつタイムリーな情報に接することができるよう検討していきます。さらに、各班の関東OB・OG会、「松尾倶楽部」ほかの各種団体とのつながりを持ち、関東同窓会の会員がそれぞれに同窓会活動にかかわる機会を増やせるようにしたいと思っています。

実は、こうした取り組みは、同窓会の活動を支える財源の確保、ひいては財政の健全化にも資するはずだ。やはり、数は力なり。会員の裾野を広げ、そのつながりを強めていくことで、年会費のより多くの納入が期待できるからです。もちろん、その一方で、支出の見直しを通じて、経費の節減を図っていくつもりです。

引き続き、皆様のご理解とご協力のほど、切にお願い申し上げます。

## 第62回総会 コロナ禍以前の形式

### ★第1部 講演会

関東同窓会は2023年6月24日(土)、東京都千代田区一ツ橋の如水会館で第62回総会を開催した。ようやく4年ぶりにコロナ禍以前の形式(講演会、総会、アトラクション、立食形式の懇親会)で行うことができた(講演会と総会はリモート視聴可)。実行委員長は75期の一之瀬康利さん、出席者は189人(内リモート13人)だった。

ご来賓として母校の宮下美和校長(84期)、同窓会本部の金子元昭理事長(68期)、藤井哲也理事(87期)、関西同窓会の萩原靖会長(74期)、中南信支部の小池健一支部長(67期)にご参列いただいた。

### ★第2部 総会

10分間の休憩を挟んで、同じく丸山誓さん(75期)の司会で、総



総会の様子



総会で議案の承認



講演する金吉晴さん

会が開会した。近藤正昭会長（69期）の挨拶に続いて、ご来賓のご紹介を行い、同窓会本部の金子理事長からご挨拶をいただいた。会則に基づき大工原潤さん（75期）が議長に選出され、議事が進行した。例年の第1号議案「2022年度会務報告」、第2号議案「2022年度決算報告」、第3号議案「2022年度監査報告」、第4号議案「年度会務計画」、第5号議案「2023年度予算」に加えて、第6号議案「会則改定」、第7号議案「新役員選出」、第8号議案「相談役の推挙と顧問の委嘱」と多くの議案の審議・採決を行ったが、事前の幹事会で重ねて討議した結果なのか、質問は少数にとどまり、全議案が承認された。

★第3部 アトラクション「吹奏



吹奏楽班の演奏

と、校歌を2曲目に配置し、異なったジャンルを織り交ぜたプログラムであった。演奏者との距離が近く、迫力ある演奏に圧倒され、また繊細な表現に酔いしれた時間だった。会員からは素晴らしい演奏に対して惜しみない拍手が送られ続けた。

近づき、来年度の総

楽班の演奏会

副実行委員長の五十嵐剛さん（80期）の司会により、上田高等学校吹奏楽班の演奏会が開幕した。総勢43人の大編成による2014年以来9年ぶりの関東同窓会総会での演奏であった。「星条旗よ永遠なれ」「上田高等学校校歌」「ポロネーズとアリアー吹奏楽のために」「鯨と海」「スター・パズル・マーチ」「アルヴァー・マール序曲」「レトロ」「ジョン・ウイリアムズ・スイング」「宝島」「OMENS OF LOVE」

★第4部 懇親会

懇親会の司会は五十嵐さんに長谷川剛さん（80期）が加わった。実行委員長の一之瀬さんの開会の辞に続いて宮下校長よりご挨拶をいただいた。関西同窓会の荻原さんからご挨拶と待ちに待った乾杯のご発声があり、4年ぶりの立食形式の懇親会が始まった。参加者は期ごとのテーブルに集まり、料理や飲み物を楽しみながら和やかに歓談した。マスクなしで席の移動、お酌も可能になり、楽しい交流の時間が流れた。宴もたけなわ、高田忍さん（69期、上田市議）の音頭で、久しぶりの出席者全員による校歌斉唱が行われ、会場は大いに盛り上がった。終了時間も



吹奏楽班の演奏に聴き入る同窓生の皆さん



立食形式の懇親会

会実行委員を代表して鶴澤省一さん（76期）の来年度総会成功への決意表明があり、五十嵐さんの開会の辞により、講演から5時間に及んだ第62回総会が無事終了した。

# アクト法律事務所

〒107-0052  
東京都港区赤坂3丁目9番18号  
赤坂見附 KITAYAMA ビル3階  
TEL：03-5570-5671（代表）  
FAX：03-5570-5674  
【最寄りの交通機関】  
地下鉄銀座線・丸ノ内線 赤坂見附駅下車徒歩1分

弁護士（所長）	岩井 重一（62期）
弁護士	安田 隆彦
弁護士	平澤 慎一
弁護士	波戸岡 光太
社会保険労務士	岩井 信也

# 新役員の紹介と役割分担

時代の変化に対応していきます。  
 一般と広告取りまじめについて、  
 ⑥会報（Web化推進含む）全  
 班 ④三中 ⑤舞台鑑賞、読書



**萩原貴 (79期)**  
 ①副会長 ②広報委  
 員会 ③軟式テニス

④長野市立柳町中 ⑤テニス  
 ⑥年代や性別を超えた活発な交  
 流の場を作っていきたいと思っ  
 ます。



**掛川治男 (73期)**  
 ①副会長 ②会員交  
 流委員会 ③帰宅部

④依田窪南中部 ⑤フットサ  
 ル、ゴルフ他 ⑥若者も楽しく  
 参加できる同窓会にしたい。



**橋詰富博 (73期)**  
 ①副会長 ②IT推  
 進委員会 ③物理班

のため、けん引役となります。



**関博明 (72期)**  
 ①副会長 ②組織力  
 強化委員会 ③バス

ケットボール班 ④二中 ⑤映  
 画鑑賞・美酒と佳肴を楽しむこ  
 と ⑥昨年の総会で承認された  
 継続役員です。魅力ある同窓会



**中村和久 (75期)**  
 ①編集長 ②広報委  
 員会 ③弓道班 ④

⑥皆様のお力を借りながら、会  
 務の改善に努めます。



**長坂武見 (72期)**  
 ①会計長 ②財政健  
 全化委員会 ③硬式

窓会を目指します。



**平林一央 (75期)**  
 ①幹事長 ②会務運  
 営委員会 ③山岳班

を通じて多くの皆さんとお会い  
 できたら嬉しいですよ。



**石黒久仁子 (80期)**  
 ①副会長 ②組織力  
 強化委員会・会員交

流委員会 ③硬式庭球班 ④丸  
 子中 ⑤テニス ⑥同窓会活動

	<b>萩原久俊 (74期)</b> ①副幹事長 ②広報委員会 ③バドミントン班 ④東部中 ⑤読書
	<b>金井一正 (76期)</b> ①副幹事長 ②組織力強化 委員会 ③体操班 ④二中 ⑤器械体操、競技 スキー、ゴルフ
	<b>鴛澤省一 (76期)</b> ①副幹事長 ②会務運営委 員会 ③社会科学研究班 ④三中 ⑤ランニ ング、ゴルフ
	<b>竹花真理子 (78期)</b> ①副幹事長 ②会員交流 委員会 ③写真班 ④二中 ⑤旅行、映画・美 術鑑賞、トレッキング
	<b>渡邊博 (78期)</b> ①副幹事長 ②組織力強化委 員会 ③ハンドボール班 ④二中 ⑤演劇（市 川座所属）、ハンドボール（松門会マスターズ部 門参加）
	<b>鈴木巳季 (80期)</b> ①副幹事長 ②会員交流委 員会 ③硬式庭球班 ④一中 ⑤テニス
	<b>山崎まゆみ (80期)</b> ①副幹事長 ②組織力強 化委員会 ③軟式庭球班 ④坂城中 ⑤最近コ ーラス始めました♪
	<b>横関正人 (81期)</b> ①副幹事長 ②会務運営委 員会 ③剣道班 ④一中 ⑤キャンプ

	<b>重藤知夫 (82期)</b> ①副幹事長 ②IT推進委員 会 ③放送班 ④三中 ⑤エスperant
	<b>五十嵐恵子 (83期)</b> ①副幹事長 ②IT推進委 員会 ③吹奏楽団 ④三中 ⑤ヨガ、晩酌
	<b>小山勇 (92期)</b> ①副幹事長 ②広報委員会 ③卓球班 ④一中 ⑤サッカー、ボクシング、 ランニング
	<b>阪下千恵 (93期)</b> ①副幹事長 ②会員交流委 員会 ③美術班 ④三中 ⑤料理、読書
	<b>金井信幸 (95期)</b> ①副幹事長 ②会員交流委 員会 ③バスケ ④丸子北中 ⑤キャンプ
	<b>佐藤一男 (77期)</b> ①副会計長 ②財政健全化 委員会 ③バレー班 ④二中 ⑤読書、旅行、 トレーニング
	<b>古畑克巳 (69期)</b> ①監事 ②一 ③郷土班 ④坂城中 ⑤ゴルフ、絵画、警察小説
	<b>関雄二 (72期)</b> ①監事 ②一 ③水泳班 ④ 丸子北中 ⑤晩酌

【①役職 ②担当の委員会 ③高校時代の所属班等 ④出身  
 中学 ⑤趣味 ⑥抱負】



## 第15回小金井マスターズ開催される

—名譽幹事 白井透さん(60期)を偲ぶ—

第15回小金井マスターズが10月25日に東京都小平市にある名門、小金井CCで参加者40名で行われた。天気快晴の中、長野組6名、女性1名、最年長和田裕さん(48期)、最年少竹村淳一さん(103期)と近隣遠方・老若男女等多くの参加者があつた。当日は新ペリ



集合写真

ア方式で行われ、優勝者は高梨奉雄さん(62期)(グロス98、ネット71)、準優勝者は芝間志浩さん(72期)(グロス84、ネット72)、3位は由井崇さん(61期)(グロス104、ネット72)と立派な成績であつた。

今回の小金井マスターズは、これまでの14回とは異なり二つの意味を有した大会となつた。一つは、このコンペの創設者の一人で、永年幹事を担当されてきた白井透さんが今年7月9日に亡くなり、その追悼コンペとなつたこと。もう一つは、上田高校関東同窓会ゴルフ同好会が40回目の節目を迎え、その記念大会をこの小金井マスターズと合同で開催したことである。そもそも小金井マスターズは今から15年前、小金井CCのメンバーの黒澤博身さん(60期)、白井透さん(60期)、福嶋宣さん(60期)などが60期の親睦を深めるために、関東や信州の人達が集まり発足した会であつた。白井さんは創立時からこの会の幹事を担当しており、その人望が厚いことから評



懇親会の様子

判を聞きつけた60期以外の面々も多く参加するようになった。また、同CCのメンバーである和田裕さんも当初から参加し、現在は名譽会長として我々後輩を温かく見守ってくれている。今回も高級ワイン3本差し入れていただきワイン好きの参加者はニンマリしていた。白井さんは惜しくも7月9日にご逝去され、コンペの後の懇親会で同氏の写真を飾り、60期を中心として各々が同氏の思い出話を語つた。特に篠塚嗣雄さんの話

は「白井君は、高校時代は私と同じ軽井沢から浅間山を見て汽車通学をし、汽車の中でいつも教科書を開いていた秀才であつた。また、友達思いで自分より先に友を心配する人だった」と話され大いに感動した。また、追悼記念としてプリントデザインのケース入り記念ボールを作製し参加者に配つた。

もう一つの関東同窓会40回記念は、同会が2002年12月にサミットGC(茨城県)で第1回大会が開催され、それから約21年が経過し今回の40回目と節目の大会となつた。その間、宮島光男さん(55期)は初代幹事でしかも40回参加の皆勤賞と金字塔を立てた。しかし残念ながら優勝したことは一度もないということであるが、この先まだまだ希望を捨てていない様子であつた。石井光春さん(54期)も創立者のひとりで、最年長、しかも毎回賞品を持参し会を盛り上げてくれる。今回は当時の思い出話を話され、特に第1回は12月初旬に開催し、雨は降っているし寒いしゴルフをやるには最悪のコンディションであつたという。しかし、最初が散々だった分その後運気が上昇し40回の開催につながつたということである。何が幸いするか分らないものだ。参加者は最大47名の時(2012年)もあつたが、最近はその半分

の20名前後となつている。今回小金井マスターズに40名も参加したので、その内の何人かはゴルフ同好会にも参加してもらうように働きかけた。

今後は、ゴルフ人口が減少する中、100期以降の若い方や女性の参加者を多く募り、春は千葉県の名門コース千葉CC・川間コースで満開の桜を見ながらプレーをし、秋は東京の名門小金井CCで開催となれば多くの方に参加していただけるかと考えている。特に小金井CCは野球で例えれば、甲子園球場か東京ドームに匹敵する。その球場で町の草野球チームがプレーするようなもの。なので、ワクワクするのも当然である。そこで、2024年の日程が確定したのでお知らせします。春は千葉CC・川間コースで4月5日(金)、秋は小金井CCで10月23日(水)となりました。多くの方のご参加をお待ちしております。

連絡先 jic36851b8@goldzero.jp  
幹事代表 古畑克巳(69期)



記念ボール

# 活動を休止します

## 絵画同好会よりお知らせ

同窓生の皆様、明けましておめでとうございます。昨年は異常気象による自然災害の上に民族戦争など不安の多い年でした。今年は早々に治まってほしいものです。

絵画同好会は2018年に11名の有志により第1回の展示会を開催し翌2019年は上田、松本から

も参加をいただき15名の出展を得て第2回を開催、多くの同窓生にご来場賜りました。その後はコロナ自粛により2年間2回も中止せざるを得ず、関東同窓会HP上にWeb galleryとして有志の作品を数点掲載しておりますが、残念ながら第3回リアル展示会を開催す

るための参加者が足りません。今まで支援していただいた関東同窓会の役員方々はじめ同窓生各位には誠に申し訳ありませんが絵画同好会としての活動は休止させていただきます。お詫び方々ご報告申し上げます。ありがとうございます。

絵画同好会代表

諸岡健児 (62期)



「太海岩礁」工藤清一 (76期)



「海ほたる」諸岡健児 (62期)



「秋の御射鹿池」町田克二 (59期)



「美ヶ原」橋詰守人 (54期)



「貴船神社 (京都府)」古畑克巳 (69期)



# やまびこ句会

## 震災復興状況は

6月下旬3泊4日の旅行をした。東日本大震災から12年、その後の復興状況を見る旅であった。常磐線から三陸鉄道を乗り継いで八戸までの鉄道旅であった。被害の大きかった地域においては、道路整備は出来ているものの真新しい家が閑散と建っている。中でも原発事故の跡地については藪に覆われている。

リアス線の田野畑駅に降り立つ

## やまびこ句会(4月〜9月)

- 人力車駆ける浅草初夏の風 (正佳)
- 小学生の抱へる箱に夏蚕かな (奉男)
- 雲低く浅間も見えず梅雨に入る (芙紗)
- 夏のれん深川めしの昼餉かな (孝昭)
- 松が枝に動かぬ蛇のまなこかな (一江)
- 炎天やリアスに延びる防潮堤 (貴美)
- 緑木の帽子の如き百日紅 (正雄)
- 手花火の線香花火懐かしき (平六)
- 秋ともし酒場の並ぶ裏通り (隆治)
- 秋夕焼音道連れにゆく「あさま」 (前歩)

た。ホームには津波到達点の標識がある。海からははるか高い所にある。歩いて海岸まで行くと防潮堤で海が見えない。階段を上り、海を見ると、そこには13メートルのコンクリートの絶壁がある。この防潮堤が見渡す限り続いている。そこで読んだ句が「炎天やリアスに延びる防潮堤」であった。旅行先では日頃と少し違った景色が見える。

吉池貴美(62期)



「新橋亭」にて

## 銀座で映画「ひまわり」貸し切り鑑賞会と食事会

映画「ひまわり」の上映が終了し館内に電気がつくくと、半分の人の目が腫れぼったいと思つた。7月8日(土)、17名が参加して「銀座で映画『ひまわり』貸し切り鑑賞会と食事会」での一場面である。映画「ひま

わり」を観た人全員が、ウクライナの大草原に咲き誇った数十万本のひまわりのシーンを思い出すであろう。しかも、それは何十万人の死者が眠っている土地に咲き、その美しい姿と死者の対比が皮肉にさえ思える。監督はそれを狙つたのかもしれないが、戦争の「光と影」を表しているかもしれない。戦争は多くの犠牲を伴うが、それが一瞬で消えるものではなく、何十年も続くとなるとその悲惨さは倍加してくる。広島、長崎の原爆投下もまさにその通りで、一瞬の爆弾投下が何十年も被爆者を苦しめてきた。今回の映画を通してそれを強く感じた。

今回の出席者は、同窓生はもろんのこと、その奥さん、知人等普段お目に掛かれない方も多く参加され、同窓生の家での生活ぶりが垣間見られ、意外な面を知ることができた。

会員交流委員会  
幹事 古畑克巳(69期)



映画評論家の荒木久文さん(69期)による映画導入解説



銀座「TCC試写室」にて

## 4年ぶりに会員大会が開催されました

### 上田高等学校同窓会事務局長 手塚和幸（78期）

10月28日（土）、上田東急RE Iホテルにて、2023年度会員大会、併せて延期していました上田高等学校創立120周年記念式典が開催されました。コロナ禍により4年ぶりの開催となった大会

には、ご来賓に宮下美和學校長のほか、120周年事業に関わっていただいた学校・PTA関係者の皆様もお招きをいたしました。また、2019年秋から2023年春までに叙勲の栄に浴された同窓生のうち9名の皆様、そして関東同窓会から矢島基美会長、平林一央幹事長、長野支部から金井伸樹支部長、宮原博之副支部長、中南信支部から小池健一支部長、小林

茂昭顧問がご出席いただき、参加者が310名を超える盛大な大会となりました。大会・記念式典に先立つ記念講演では、元最高裁判所判事で弁護士士の山浦善樹氏（63期）に「迷える上田高校時代：いまだ道半ば（回顧と展望）」と題して、高校時代のエピソードに始まり、弁護士を目指すにいたった経緯、弁護士、最高裁判所判事として経験されてきたこととお話しいただきました。

オープニングアトラクションの上田高校室内楽班18名による「ジューピター」他全5曲の演奏をはじめ、室内楽班の伴奏による校歌斉唱の後、会員大会・記念式典が開

会となりました。大会・式典では、金子元昭理事長のご挨拶、宮下学校長、矢島関東同窓会会長からのご祝辞のあと、山越雅明副理事長により2023年度会務報告、120周年記念事業報告が行われ、閉会となりました。

その後の懇親会では各テーブルで久しぶりの再会となった皆様と旧交を温め、また、世代を超えた交流もあり、締めめの当番期80期の号令による凱歌斉唱まで大いに盛り上がった宴を催すことができました。



山浦善樹さんの記念講演



上田高校室内楽班の演奏



当番期80期の皆さん

### 会報配布電子化（試行）の進捗報告

既にご案内のように、エコ対応やコスト削減を狙いとして、現在

### クレジットカード決済による年会費等納入の利用状況

会計長 長坂武見（72期）

2023年4月から9月末までに366人の会員から1,603,500円の年会費と寄付金をいただきました。会員皆様のご支援を感謝し御礼申し上げます。

関東同窓会では、2022年4月から年会費等の新たな納付手段としてクレジットカード決済を導入しております。2023年4月以降9月末までにクレジットカード決済を利用して年会費・寄付金を納付いただいた人数は35人、金額は178,000円でした。

郵便局に行かなくてもいつでもどこでもPCやスマートフォンで手続きができるというメリットがありますので、会員の皆様には年会費等のクレジットカード決済をご利用いただき、今後とも同窓会へのご支援よろしくお願いたします。

関東同窓会ホームページの「年会費等のクレジットカード納入」から支払いサイトに入ることができます。フィッシングサイトでないことを確認するために、支払いサイトに入りましたら必ずURLをご確認ください。正しいURLは次のとおりです。

<https://uedakant-sakura.raku-uru.jp/>

90期以降の皆様を対象に会報配布電子化を試行中です。2023年10月末時点での会報配布電子化への登録者は、会報106号までで104人、会報107号では新たに56人、合計160人です。現時点でトラブルもなく順調に進捗しています。

また、会報配布電子化登録者への会報完成時の「会報発行案内メール」では、紙の会報郵送時と同様に年会費納入のお願いもさせていただきます。

今後当面試行期間として、90

期以降で会報配布電子化の登録手続きがお済みでない皆様には、会報郵送時にご案内をさせていただきます。また、関東同窓会ホームページ（同窓会への連絡↓同窓会への連絡フォーム）でも随時登録をお受けしていますのでどうぞご利用ください。（注意…この会報配布電子化への切り替えはあくまでもご本人の希望によるものです）

広報委員会

委員長 萩原貴（79期）





「班OB・OG会の紹介」

第7回 理科系班OB会

理科系班OB会は当初「化学班OB会」として発足し、第4回から「理科系班OB会」として継続している。近年は郷土班、無所属の方も参加され、OB会のない班の方々共通のOB会として位置づけてもよいのでは。発足から18年がたち若返りが最大の課題で、卒業後に理科系といわれる職業についておられる方など大歓迎です。ぜひご参加ください。

楽しい一夜を過ごした。

第2回の06年からは母校で化学を教えていた故・清水周先生(47期)が参加され、12回まで参加された。会は冒頭にミニ講演会を行いその後、懇親会に移った。この方式は現在も続いている。

理科系班OB会に発展

最大22人参加

第4回の08年8月24日、「理科系班OB会」に発展させて「塩梅銀座店」で開催した。参加者は清水先生、物理班2人、化学班7人、生物班1人の計11人。

2005年7月4日に開催された上田高校関東同窓会総会に化学班OBが4人参加した。「体育系クラブのように化学班も知っているOBに声を掛けて集まろう」と意見が一致し、4人が中心になって声を掛けた。その結果13人もの賛同者を得て、8月25日に中野坂上の居酒屋「巴」に集まった。

長野市と松本市から駆け付けた遠方のOBやOGもあり、初めて会う者・何十年ぶりの者もいた。職種も医師、大学教授、銀行員、経営者、技師、看護師等々と様々で、博士号を持つ者も3人(医学・工学・農学)いたが、直ぐに打ち解けて高度な?異業種交流で



第14回OB会

第6回は10年8月29日に開催され、当時、NHK気象キャスターの関嶋梢さん(93期)らこれまで最大の22人が参加した。清水先生、化学班10人、物理班3人、天文班6人、生物班1人、電気班1人。第7回から15回までは毎年8月の最終土曜か日曜に開催し、写真班、郷土班、無所属の方も参加された。

4年ぶりに開催し11人参加  
4年ぶりに開かれた第16回は23年9月2日(土) 14時から大庄水産水道橋店で行われ58期から64期まで11人が参加した。最初に東京農業大学名誉教授の中西載慶さん(64期)が「清酒造りの技と酔いの科学」について講演した。

中西さんは「座ったままで、マイクのないのは初めて」と前置きし「お酒の話なので飲みながら聞いてください」と、概要のように話した。

1、清酒は日本人の英知の結晶で、古事記、日本書紀にも出ている。大宝律令(701年)に朝廷に造酒司が設置され酒造家に広まった。延喜式(927年)などには、麴造り、酒母造り、発酵管理など製造法が記されている。

2、清酒の製法は①麴、②酛、③造りーが大切。①伝統的麴造り

は多くの手作業があり完成までに31~42時間を要する。②酒母造り(酛)は麴、蒸米、水から造り、生酛は麴、仕込み水等から由来する硝酸還元菌群、乳酸菌群、酵母の相互作用で最終的に清酒酵母のみとする。厳寒期に1カ月近くを要する。山廃酛は前記工程に清酒酵母を加えて作業期間を短縮する。さらに乳酸を添加する速醸酛もある。③造り(発酵)は麴の酵素による蒸米の糖化と酵母のアルコール発酵が同時並行的に進行する。造りは三段仕込みをする。雑菌汚染を防止しつつ低温で糖化と



第16回OB会

毎日の健康を支える機能性表示食品  
おなかの調子を整えるフラクトオリゴ糖配合

**快適腸生活®**

詳しくはこちら

【届け出表示】  
本品にはフラクトオリゴ糖 (FOS) が含まれています。 (FOS) は善玉菌として知られているビフィズス菌を増やすことで、おなかの調子を整えることが報告されています。

販売者: **ラクトライフ株式会社** 58期 矢嶋瑞夫  
【お問合せ】 0120-244139 <https://www.lactlife.jp>  
〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町 20-6 TEL: 03-5645-2394

アルコール発酵を続け、3回に分けて段階的に原料を仕込む量を増やしていく。20~25日発酵を行う。

3、人はなぜ酒に酔うのか。アルコールが大脳(新皮質)に届くとほろ酔初期、大脳(旧皮質)は酩酊初期、小脳は酩酊期、海馬は泥酔期、脳幹は昏睡期。

酒に強いか弱いかは遺伝子により決まっている。肝臓のアルコール、アセトアルデヒド脱水素酵素は白人黒人は100%あるが、モンゴロイド系人種は50%程度という。

この会に興味のある方は、事務局・矢嶋瑞夫さん(58期)の電話070-6406-7483にショートメールを入れてください。

石井則男(64期)

## 上田高校で「社会人入門講座」

各界で活躍中の卒業生が講師となり専門分野について話す「社会人入門講座」（1年生対象）が、2023年8月25日に母校で開催されました。講師を務められた4人の方の報告です。

### 「銀行業務と銀行員生活」

りそな銀行信託年金サポート部

担当マネージャー

荻原貴（79期）



今回は8年前に続いて2回目の講座参加だ。今回の内容は、自身の長い銀行員生活（履歴）を振り返りながら、銀行業務の紹介を行うというものだった。導入部分では、生徒の皆さんにはあまり馴染みがない私が所属するりそな銀行の立ち位置の紹介を通じて、銀行を含む金融業界全体についての概略を解説した。

と違い、同じ内容の授業（50分）

員生活（履歴）を振り返りながら、銀行業務の紹介を行

うというものだった。

導入部分では、生徒の皆さんにはあまり馴染みがない私が所属するりそな銀行の立ち位置の紹介を通じて、銀行を含む金融業界全体についての概略を解説した。

講義の様子



全体を通して伝えたかったことは、銀行業務はその時々政府・行政の方針・施策に大きく影響されるとのこと。そして金融業界は様々な業態があり、その中の銀行にも多くの種類とそれぞれ

## キーワードは「夢を現実に」

漫画家 木曾町義仲館プロデューサー 西川かおり（87期）



漫画、ゲーム、歴史研究などアーツ・文化の領域で2年続けて課題研究入門講座の講師を務めさせていただきました。キーワードは「夢を現実にする」です。昨年は焦って早口で話し、時間が余ったため、参加者全員と質疑応答を行いました。その際印象深かったのが「自分には夢がない」と切り出す生徒の多

さです。しかしやりとりを重ねていると、話している内容には夢や希望、強い意志を感じました。その役割があるのでぜひ視野を広げてもらいたい。また、専門分野に就く人は意外と少ないので最初から専門知識は不要、入社してからが勝負であること。質疑応答の中では、現在の金融緩和政策のいわゆる「出口」について質問があり、問題意識の高さに驚きと感銘を受けた。

最後に以下を生徒の皆さんに伝えた。1. 将来の職業について考えることは大切だが、焦って決め

る必要はない。大学に入ってからでも遅くない。2. 社会に出ると、故郷を離れると、また国際人として活躍する上で、故郷の歴史・文化を知り、誇りを持つことが必要となる。3. 2年後に18歳になると選挙権や国民投票権を得るが、それまでに日本国憲法を読んでほしい。

こみ上げました。

私のライフワークは昨年の大河ドラマでも話題になった「木曾義仲」の顕彰です。義仲との出会いは高校1年生、古典の授業で「平家物語／木曾最期」を学んだ時でした。

運命を変えた教室に再び訪れることができ、同じ高校1年生に「自分の道はすでに自分の中にある」ことに気づき進むためのヒントを手渡せたように感じました。こうした機会をいただき、同窓会、学校の皆様に改めてお礼を申し上げます。

講義の様子





# 政策を科学する(数字で社会現象を解析する)

## 明治学院大学経済学部教授 児玉直美(84期)



8月末の暑い金曜日の午後、上田高校1年生を対象とした社会人入門講座でお話しする機会をいただきました。講義では、経済学とはどのような学問であるか、「理系」の大学に進みながら、なぜ現在、「文系」の経済学で何が違うか?なんて考えたこともありませんでした。目先の「理系」「文系」というカテゴリーにとらわれ、数学や物理が好きなものだから理系という進路の決め方をしていました。しかし、現在の経済学では数学が多用されています。高校生の中のみなさん、文系「だけ」から数学や理科は勉強しなくて良いと思っている人がいるかもしれません。「理系」「文系」

# 価値観の構築とキャリア形成

## モチベーションファクター株式会社 代表取締役 山口博(79期)



国内外企業各層を対象に、リーダースhip 発揮力をその場で高める能力開発プログラムを実施しています。理論解説をしない、動作と話発揮の反復演習です。社会人講座でもこの演習を実施しました。間断なく発言や質問をし、楽しんで演習に参加してくれた後輩を頼もしく思いました。1分間で意欲を高める演習で

国内外企業は、参加者60人中56人、実に93%が一段階以上高めてくれました(全国平均75%)。自分のモチベーションファクターの見極め演習では、意欲を高める要素を、よし悪しではなく、目標達成、自律裁量、地位権限、他者協調、安定保障、公私調和の6要素で捉えます。日本のビジネスパーソンのそれは6要素にほぼ均等に分散します

「経済」の区別もついていませんでした。また、法学、社会学、経済学で何が違うか?なんて考えたこともありませんでした。目先の「理系」「文系」というカテゴリーにとらわれ、数学や物理が好きなものだから理系という進路の決め方をしていました。しかし、現在の経済学では数学が多用されています。高校生の中のみなさん、文系「だけ」から数学や理科は勉強しなくて良いと思っている人がいるかもしれません。「理系」「文系」

モチベーションファクター株式会社では、意欲を高める要素を、よし悪しではなく、目標達成、自律裁量、地位権限、他者協調、安定保障、公私調和の6要素で捉えます。日本のビジネスパーソンのそれは6要素にほぼ均等に分散します

初対面の人のモチベーションファクター見極め演習では、見極め正答率は86%と格段に高い水準でした。この見極め率は組織巻き込みの基本指標です。今回の参加者はリーダークラスとして素養を十分に備えていると言えそうです。



講義の様子

モチベーションファクター株式会社では、意欲を高める要素を、よし悪しではなく、目標達成、自律裁量、地位権限、他者協調、安定保障、公私調和の6要素で捉えます。日本のビジネスパーソンのそれは6要素にほぼ均等に分散します

モチベーションファクター株式会社では、意欲を高める要素を、よし悪しではなく、目標達成、自律裁量、地位権限、他者協調、安定保障、公私調和の6要素で捉えます。日本のビジネスパーソンのそれは6要素にほぼ均等に分散します

モチベーションファクター株式会社では、意欲を高める要素を、よし悪しではなく、目標達成、自律裁量、地位権限、他者協調、安定保障、公私調和の6要素で捉えます。日本のビジネスパーソンのそれは6要素にほぼ均等に分散します



講義の様子

ファクターを追究し続けてきたのは、高校1年の夏季休暇の課題図書50冊の中の1冊、渡部昇一著『人間らしさの構造』に衝撃を受けたことが元になっています。この書が唱える「内なる声に耳を傾けて自己実現する」ための具体的な手法を、モデル化して普及させてきました。社会人入門講座を、それぞれの価値観の構築と、内なる声をふまえたキャリア形成に役立てていただければと願うばかりです。

# 関東同窓会アーカイブスクロール

## HP「生ヒストリー温故知新」より(後編)

### 近藤正昭(69期)

前号に引き続き関東同窓会ホームページに掲載している「生ヒストリー温故知新」より同窓会への「想い」をお届けする。

\*文中敬称略

現在のHPのスタートは20年以上前になるが、初期に尽力したのは石井則夫(64期)。2002年に西麻布事務所開設を機に会報「うえだ」を膨大な作業の上、データ化して掲載した。「85期以降の会員から近況を知らせる投稿がたくさんあり驚いた」。その後担当は原田義則(65期)に引き継がれブラッシュアップとメンテナンスに注力した。「同窓会活動における弱い人的ネットワークは仕事に活かすのみならず、人生の中で有効に働く」

「絆」を深め、さらに確かめるためにも多くの卒業生が同窓会の輪に一層加わっていただくよう切望する」。アクションプランとして目的に合わせて委員会を設置し、同好会としては「やまびこ句会」や「赤松小三郎研究会」を発足させた。立ち上げには、小松正佳(64期)などが協力し、事務局は小山平六(62期)が務めた。10周年を迎えた研究会は、講演会に同窓生以外の参加も増え、軌道に乗っている。



滝澤 進さん (61期)  
第17代会長

東日本大震災の年に会長に就任した滝澤進(第17代会長・61期)は、「故郷を離れて暮らす同窓生の「絆」として都会のオアシスのような存在となるよう、またその



高梨 奉男さん (62期)  
第18代会長

大河ドラマ「真田丸」放映にあわせて、総会で関連講演会を実施したのは高梨奉男(第18代会長・62期)会長時。藤川昇(63期)は関東同期会を積極的に開催した。編集長を務めた松本哲夫(67期)はレイアウトデザインソフトなどの扱いに苦労したもの、発行時の喜びはそれをうわまわった。水島良子(67期)は「私にとつて素敵な先輩後輩との出会いが元気の



上原 昇さん (65期)  
第19代会長

10年以上同窓会の運営に役員として参画した上原昇(第19代会長・65期)は、会長就任時に、関東同窓会60周年を迎え、記念のDVDを作製して配布、好評だった。また、ゴルフ同好会の2代目幹事を長らく務めた。その後、幹事は69期有志の幹事団に引き継がれる。人集め、お金集め、記録集め、の活動で、「同窓会の活動は、世代を超えた人と人とのつながりで成り立っており、先代からお世話になった分を、次代に返していくことが大切」。同期の宮原豊(65期)は第51回総会実行委員

源だった。これからも関東同窓会では素敵な出会いがずっと繰り返されたい」と語る。また「女性同窓生の会」を苦勞しながらも開催したのは池田有美子(69期)。52期から103期の30〜40人と年代を超えて集い、穏やかな輪が広がり、親しいひとときを過ごした。ただ、任期最後でコロナ禍により会が延期されたのは残念と語る。「同窓会に参画したことで、人生がちよっぴり豊かに彩られた」



近藤正昭さん (69期)  
第20代会長

長。総会では約300名の出席があった。「同窓会の運営では目の前に明らかな変化が押し寄せている。いざ百難に試みむ」の精神で、皆で気楽に楽しい同窓会になつてほしい」。田口博(66期)は、「先輩諸氏の熱意と努力によって同窓会は運営されてきた。魅力的な活動、アイデア山盛りの会となるよう願っている」。塩野崎英二(66期)は、「活動していただけの期待代表幹事の発掘が重要」。堤達(67期)は会計長として管理に苦勞したが、一瞬ながら振込用紙の向こう側の会員に思いをはせて感謝の思いがした。「同窓会はささやかな人間関係が資本であり、一人からみんなへ」を合言葉にしよう」

コロナ禍で、活動が制限される中で就任した近藤正昭(第20代会長・69期)はワンチームでさまざまな改革を実施し、会則は20年ぶりに、現状に合わせて十分検討したうえで改正した。「細くても長いおつきあいのできる、同窓会の充実と発展をお祈りする」

上田高校創立120周年の記念式典で、久しぶりに友人や先輩、後輩にお目に掛かり、ご活躍の様子を伺うことができた。おかげで、自身に活を入れる良い機会になった。鉄腕アトムや対人援助業の話も評判よかったのでひと安心です。

千代田区神田小川町1丁目1番地  
〒101-0052 山基ビル8階 山浦法律事務所  
弁護士 山浦善樹 (63期)  
TEL 5244-5372 yamax@nn.ij4u.or.jp

櫻田法律事務所

弁護士 櫻田 喜貢穂 (65期)  
弁護士 今井 亮 (野沢北高校)

〒102-0092  
千代田区隼町2-17 パレスサイド千代田3F  
Tel. 03-3512-3562 Fax. 03-3512-3563  
E-mail : sakura@sakurada-jimusho.com



# 関連団体の紹介 東京青木会

## 1 一揆の村

「合併を一揆の村は拒みたり山鳩啼きて人声やさし」という歌は、坂城町の歌人（故）杵掛喜久男さん（49期）が青木村を詠んだものですが、温かくも鋭いまなざしで青木村の特性をとらえていると思います。山間の集落はのどかで、村人は穏やかだが、命や暮らしにかかわる重要な決定をすべきときには、権力におもねることなく、毅然として自分たちの意思を表示するのです。義民・自立・反

骨の精神風土は一揆の時代から培われてきたと言われています。

2019年9月、100周年記念誌「常盤の緑」を制作しました。会員からの寄稿文（随筆）が中心ですが、「100年の歩み」も掲載されています。戦時中でさえ消滅しなかったのに、戦後の高度経済成長期には低迷するなど、幾多の浮沈を繰り返し、今日に至っています。

3 活動  
当会は「令和」とともに101年目を迎えました。見事にコロナ・パンデミックと重なり、活動を縮小、ホームページだけで呼吸をしているような事態に陥りました。ここに酸素を送り込んでくれたのは気象庁を退職後、青木村に戻った岩淵登喜夫さんでした。岩淵さんは、毎月のように青木三山と村の季節の移り変わりを写真とエッセイで送ってくれます。これをホームページ管理者の宮原豊副会長（65期）がホームページ上にアップします。これが大好評、すっかりと故郷と結んでくれました。

4 今後のこと  
少子高齢化は防ぎようもなく、入会の対象人口は減るばかり。しかも、残念ながら、人とのかわ

2 東京青木会の歴史  
青木村で育つと、みんなが同じ小学校・中学校を卒業します。その後長じて関東圏で暮らすようになった人たちが集うのが東京青木会です。会員相互のつながり・交流を目的としています。

ルーツを辿ると、大正7年（1918年）に始まった「禁酒会」という懇親会にいきつきま

す。「禁酒会」は、上田小島の学生のための学生寮（千曲寮）の入寮者の懇親会だったのですが、これが発展し、五島慶太氏を会長とする東京青木会になったという事です。大正中期の世情に鑑みるに、「禁酒会」というネーミングにはユーモアとしたたかさを感じます。

2018年（平成

「故郷を巡る旅」という企画で、歓待を受けつつ、故郷にどっぷり浸ります。関東圏で日々暮らしながら、時折ふるさと青木村にどっぷり浸る、そこには安らぎと癒やしがある、といったところが当会のセールスポイントと言えるでしょう。



第77回東京青木会総会・青木村出身者の集う会で。中央に北村村長（左から4人目）、櫻田会長（右から4人目）

す。「禁酒会」は、上田小島の学生のための学生寮（千曲寮）の入寮者の懇親会だったのですが、これが発展し、五島慶太氏を会長とする東京青木会になったという事です。大正中期の世情に鑑みるに、「禁酒会」というネーミングにはユーモアとしたたかさを感じます。

2018年（平成

「故郷を巡る旅」という企画で、歓待を受けつつ、故郷にどっぷり浸ります。関東圏で日々暮らしながら、時折ふるさと青木村にどっぷり浸る、そこには安らぎと癒やしがある、といったところが当会のセールスポイントと言えるでしょう。



コロナ前に実施した「故郷を巡る旅」で、青木村特産タチアカネそばのキッチンカー前に集合。後ろは青木三山の一つ夫神岳

りを回避する傾向が強まっているように感じられます。こうした傾向につける薬はないわけですが、何やら楽しい集まっている様を見ると興味を持つ人はいるでしょう。だから執行部は、まず自分たちが楽しもう、そしてどうやってみんな楽しんでいかうかと、そんなことばかり考えています。

東京青木会会長  
櫻田喜貞穂（65期）

### 青木村出身者の親睦会「東京青木会」に参加しませんか？

年に一度の「集う会」の他に、「故郷を巡る旅」、「故郷の歴史同好会」、「美術と美食同好会」を通して楽しい時間を共有しています。入会金・年会費不要、気軽にご一報ください。詳しくはホームページをご覧ください。

事務局：櫻田法律事務所  
住所：〒102-0092 東京都千代田区単町 2-17  
パレスサイド千代田 3階  
電話：03-3512-3562、FAX：03-3512-3563  
メール：[sakura@sakurada-jimusho.com](mailto:sakura@sakurada-jimusho.com) 青木村の公式キャラクター アオキノコちゃん  
ホームページ：<https://newtokyoaoki.jimdofree.com>



創立100周年記念誌



## 「赤松小三郎研究会 設立10周年」

幕末の上田藩士赤松小三郎（天保2年（1831）〜慶応3年（1867））は、国内の激しい政治的対立が続く中、わが国近代化のためのグラントデザイン（憲法草案）を初めて描き、その実現に努力するなど、獅子奮迅の活躍をしました。しかし、37歳という若さで暗殺に倒れたこともあり、その業績について十分な歴史の評価が行われてきたとは言い難い現状にあります。

赤松小三郎研究会は、このような状況を踏まえ、2013年8月、上田高校関東同窓会の同好会として設立され、昨年、設立10周年を迎えました。

赤松小三郎研究会では、この10年の間に、10回の講演会を含め、50回以上の会合を重ね、赤松小三郎の歴史的な再評価や幕末史の理解に、いささかの寄与をすることができたものと、自負しております。

この間の同窓生の皆さまのご支援、ご協力に、改めて心からお礼を申し上げます。

さて、昨年は、設立10周年を記念し、研究会としての新たなスタートを切るため、いくつかの記念行事等を実施しました。

まず、初めての試みとして「赤松小三郎エッセイ賞」を募集しましたが、全国から22件の力作が寄せられ、選考委員会での選考によって「エッセイ賞」等を決定し、11月16

日（木）、関東同窓会のホームページで、受賞者を発表しました。

また、10月14日（土）、万延元年遣米使節子孫の会の宮原真理子代表理事をお迎えし、第1回の「幕末史特別講演」「万延元年遣米使節世界1周の旅」を開催しました。

10回目の「赤松小三郎講演会」は、11月26日（日）、町田明広神田外語大学教授をお迎えして、日比谷図書館で開催し、多くの皆さまのご参加をいただくことができました。

さらに、関東同窓会の全面的なご支援を得て、「赤松小三郎研究会ホームページ」を立ち上げ、赤松小三郎に関するデータベースとして、今後とも、逐次、充実、強化を図って

### 上田ゆかりの偉人

藤澤直枝「上田市史」を編纂  
明治3年 昭和19年（1870-1944）



藤澤直枝

明治維新は社会を急激に変化させ、大正時代になる

と社会の変化を書き残しておく必要性を多くの人が感じるようになる。

上田市でも、当時の市長が上田の歴史を残したいと考え、「上田市史」の編纂に藤澤が選ばれた。昭和5年1月のことだった。藤澤は当時、上

田中学（現上田高校）の歴史の教師をしていた。藤澤は明治24年に長野県尋常師範学校を卒業、伊那と長野

ていきます。

他方、赤松小三郎に関わる関係団体等の横の連携を強化するため、赤松小三郎顕彰会との共同の呼び掛けにより、東京と上田の赤松小三郎の事績の研究、顕彰等に関わる15団体等で、「赤松小三郎ネットワーク協議会」を設立しました

この協議会は、赤松小三郎についての情報交換、情報発信等を、主としてインターネットを通じて、積極的にに行い、赤松小三郎の事績の効果的な研究、顕彰等を図ろうとするもので、逐次、活動の活性化を図っていきます。

（赤松小三郎研究会・滝澤進）

で小学校と中学校の教師を勤めた後、明治32年から昭和7年まで上田中学の教師を続けた。大正13年には「日本歴史精要」を著し、大正10年、県から史跡名勝天然記念物調査委員を委嘱される。

「上田市史」は昭和5年から調査を始め、昭和15年1月に刊行。記述の細かさとの確な表現が光った。藤澤の書齋には「頼むべきは唯自己の力 好古」という自筆の言葉が掛けられていた。歴史が好きで、自分の努力でやり抜こうとする藤澤の姿勢がうかがえる。

「参考…上田を支えた人々〜上田人物伝〜」

（中村和久・75期）

### 2023年度 総会副当番期の活動を振り返って

今年度、80期（1982年卒業）は「80期総会準備委員会」を早々に立ち上げ活動を開始しました。80期は常日頃から代表幹事の會田さん（旧姓山田7組）を中心につながりを広げていますが、総会では80期準備委員会委員長の五十嵐さん（5組）中心の計8名の委員（山崎（旧姓西澤1組）・桜井（1組）・長谷川（5組）・鈴木（旧姓塩島6組）・熊野（7組）・會田・石黒）、当日朝からご協力くださった同期の皆さん、本部から駆け付けてくれた小林さん（6組）の計20名が集まりました。2次会以降は同じく副幹事期の後輩や若手の皆さんも参加して、大変楽しい時間を共有しました。このつながりをこれからも大切にして、5年後の当番期には更に楽しい総会を皆さんと作り上げていきたいと思っております！

（石黒久仁子・80期）



80期の皆さん

### 労務管理で経営をサポート

高橋社会保険労務士事務所  
社会保険労務士 高橋 武義（68期）

〒350-1175 埼玉県川越市笠幡 3757-6  
TEL049-236-3856 FAX049-277-5389  
Email : info@takahashi-sr.biz  
http://www.takahashi-sr.biz

### 新千代田総合法律事務所

日本弁護士連合会元会長

弁護士 村越 進（67期）

東京都千代田区神田神保町2丁目3番1号  
岩波書店アネックス8階 〒101-0051  
電話 03-3239-5360 Fax 03-3239-5361  
http://www.shin-chiyoda.jp/



# 歴史散歩で心身共に充実 (64期)

2023年の64期歴史散歩は10月までに東京で3回、信州で1回行った報告です。

東京の第1回は6月3日。神田川クルーズと日本橋界隈散策の予定だったが、台風2号による川の増水でクルーズは中止。歴史散歩のみ行った。

最初に、三越日本橋本館地下コンコース壁面に展示してある「熙代勝覧(きだいしょうらん)絵巻」を見た。200年前の日本橋の様子を伝える貴重な資料で、解説が記載されていて楽しめる。

水天宮に参拝し、江戸時代の劇場街だった人形町に建てられている「勸進帳」の弁慶像「玄治店跡」の碑を見て、十思公園へ。江戸日本橋伝馬町牢屋敷があったところで江戸時代、数十万人が投獄

され1万人以上が刑死した。吉田松陰、橋本左内らもここで刑死した。第2回は9月18日。前回の「神田川クルーズ」で日本橋をスタート、隅田川、神田川、日本橋川を巡り、江戸の守りと物資の流通を担った堀と川が今も健在であると実感した。

上野公園に移動して旧寛永寺本坊表門、旧池田屋敷表門、寛永寺、上野東照宮、旧寛永寺五重塔、上野大仏、清水観音堂を巡った。第3回は10月21日、浅草雷門に

集合し、ごった返す人波をかき分けて記念撮影。外国人が多く、仲見世通りは人でいっぱいだった。浅草寺と浅草神社の起源は1300年以上も昔、檜前浜成(ひのくまのはまなり)、竹成(たけなり)の兄弟が隅田川で漁をし

ていると、人の形をした像が網にかかった。土地の物知りである土師真中知(はじのまつち)が鑑定したところ、ありがたい観音像であることが分かり、お堂を建てて観音像を祀った。これが、浅草観音金龍山浅草寺の起源で、後世になつてこの三人を祭神としたのが三社さまの浅草神社である。

雷門は正式には「風雷神門」。再建は1960年(昭和35年)5月で松下幸之助が寄贈した。浅草寺の裏手の広場は江戸時代に芝居小屋が人形町から移転させられた地で、九代目市川團十郎像が置かれている。



上野東照宮で



品川台場の砲台跡にて

吾妻橋の船着き場から、水上バスに乗りお台場海浜公園へ。品川台場は天保年間、6基の台場が建設されたが、第3と第6を除き撤去、埋め立てされた。第3台場は台場公園として公開されており、砲台跡、玉置所跡、陣屋跡、炊事場跡などが残っている。建設の労苦が思いやられた。信州の歴史散歩は4月22日、芦田地域の史跡巡りをした。芦田宿の中央に旧芦田宿本陣(県志)があり、土屋家当主(68期)の案内で見学させていただいた。建物は、切り妻造りの屋根に鯨があり圧倒される。玄関は唐破風、懸魚、肘木など彫刻が施されている。建物内部の広間の床の間



旧芦田宿本陣、当主を囲んで

には、「武田二十四将軍議の図」が架けられていて、真田氏と並んで土屋氏が鎧兜姿で居る。広間の奥の物置には、鎧兜と宿札が並べて保管されており、当主が調べたところ、全国34方所の大名、公家が宿泊していたとのこと。芦田城址は、芦田宿の江戸側枡形から芦田川に沿って山側に入った所にあり、標高806mの高台にある。続いて、芦田氏建立の光徳寺を参拝した。中山道芦田宿を歩いて笠取峠へ。松並木は1kmにわたってアカマツが現存して、県天然記念物に指定されている。「花の寺」としても有名な津金寺を見学した。

清水計枝(64期)

**Outsourcingの知識集団**  
**株式会社 fellow**  
 取締役社長 古畑克巳(69期)  
 (公認会計士)  
 東京都千代田区内神田 1-18-11 東京ロイヤルプラザ 1109号  
 TEL 03-3293-8931 FAX 03-3295-6005  
<http://www16.ocn.ne.jp/~fellow/index.html>

**土屋法律事務所**  
 東京都港区虎ノ門1丁目1番15号  
 三田ビル3階 (〒105-0001)  
 TEL 03-3580-8588  
 FAX 03-3539-7057  
 弁護士 土屋耕太郎(68期)

# 同窓生の新刊

この欄では同窓生の皆さんが出版した本を掲載しています。紹介したい図書がありましたら、左記のメールアドレスにご連絡ください。その際、出来れば著者の連絡先、表紙の写真も送ってくださると助かります。

naa9rak3@outlook.jp

中村和久

(定価は税込み)

## 『不登校の歩き方』

荒井裕司(64期)



主婦の友社  
1,694円

「理由が自分ではつきりわかったら、こんなに悩んだり苦しんだりしない」「学校は休んでいるけど、心は休めていない」「並の覚悟では不登校になれない」などの不登校の子どもの本音には、関わりと解決へのヒントがいっぱいあります。(著者より)

## 『落語で資本論』

ペンネーム 立川談慶

青木幸二(82期)



日本実業出版社  
1,980円

「なんで一生懸命やっても結果が出ないのか」。現代人が恒常的に抱く悩みの答えは「資本論」にあった！「資本論」は「資本主義システムエラー」、そして「落語」は「人間の失敗図鑑」。親和性のある両者を掛け合わせた前代未聞の本がここに現れた！(著者より)

## 『造形の記紀神話 埼玉古墳群を世界遺産に』

柳沢賢次(65期)

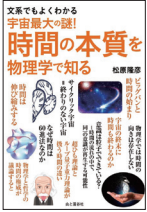


まつやま書房  
1,760円

埼玉古墳群は、記紀神話の伝承方法を伝えている。遠い祖先の英知を日本人に知らせ、世界遺産にしたいため、一冊の本とする。(著者より)

## 『文系でもよくわかる 宇宙最大の謎！時間の本質を物理学で知る』

松原隆彦(83期)



山と溪谷社  
1,650円

物理学に興味のなかった人にも

そ向けて、ライターと編集スタッフの全面協力のもと、易しい文章で知的好奇心をくすぐる本に仕上げていただきました。(著者より)

## 『信州上田藩 宝暦一揆・異聞清水半平と橋爪玄惟』

宮原豊(65期)



デザインエッグ株式会社  
3,080円

処刑された百姓・半平から「百姓のために生きろ」と諭され、玄惟は医師として百歳の天寿を全うする。知られざる二人の友情物語である。(著者より)

## 『ルヴァンのパン哲学』

甲田幹夫(65期)



A&F BOOKS  
2,200円

甲田君をよく知る現代美術作家の田中孝道さんがインタビューと写真を担当しています。甲田君の手になる水彩画もたくさん掲載されていて、読んで見て楽しい内容となっています。天然酵母のカリスマ」と呼ばれている甲田君の人生哲学に触れることもできます。(上原昇65期)

## ことぶき法律事務所 弁護士 林 幸平 (74期)

東京都新宿区新宿 2-19-13  
坂善第一ビル 8F 〒160-0022  
TEL 03-3226-0260  
FAX 03-3226-0290  
URL <http://www.kotobuki-law.com>

## eclat 税理士法人 エクラコンサルティング 株式会社 エクラコンサルティング

資産税プロ集団 お客様の事業承継を成功へ導く

代表社員 税理士 田中 誠 (72期)

〒102-0094 千代田区紀尾井町 4-1  
ニューオータニガーデンコート 8階  
TEL: 03-6866-8800 FAX: 03-6866-8801  
<http://www.eclat-c.com/>

## 「不登校」も成長の証

「じぶんらしく、輝く」

一人ひとりが持つ個性を大切に、

柔軟な教育スタイルときめ細かいサポートで

生徒を笑顔に導きます。

【4つのコース】

- ◆進学コース ◆美術イラストコース
- ◆総合エンターテインメントコース ◆ペットアニマルコース

あかし

＜最近の合格実績＞

〔国公立〕東京大(医)・東京大・京都大・北大(医)・筑波大(医)  
長崎大(医)・東京工大・東京外大・千葉大・新潟大・信州大ほか  
〔私立〕早稲田大・慶應大・ICU・上智大・東邦大(医)・東海大(医)  
杏林大(医)・北里大(医)・帝京大(医)・明治大・法政大・中央大  
青山学院大・東京女子医大・津田塾大・聖心女子大・多摩美大ほか

学校法人 上田櫻樹学園  
さくさく国際高等学校 東京校

東京都渋谷区代々木 1-43-8  
Tel 03-3370-0718  
<http://www.tokyo.sakura-kokusai.ed.jp>  
理事長・学園長 荒井 裕司 (64期)





# 上田高校 NOW

## 通常営業の松尾祭

上田高等学校校長 宮下美和

関東同窓会の皆様には、平素より本校の教育活動に多大なるご支援を賜り、感謝と御礼を申し上げます。6月24日の総会では、多くの皆様と直接お話をさせていただき、大変有意義な時間を過ごさせていただいたこと、改めて感謝申し上げます。

6月30日から7月2日、第66回松尾祭が開催されました。今年は、コロナの5類移行を受けて、平常に近い形での実施を目指しました。

1日(土)、2日(日)は一般公開でした。在学生にとっては初



宮下美和校長

めでの一般公開で、どれほどのお客様をどう迎えるのか、まったくイメージできません。コロナ前の文化祭を知る職員に聞いて想像するところからのスタートでした。

伝統は、自然に続くものではなく、毎年毎年先輩から後輩へとつながっていくものですね。さらに、今年は、生徒会役員の強い意向で飲食物の模擬店も行いました。他校では、まだ調理品の販売は見送るところも多い中、上田は、コロナ前より前進させた企画でした。まったく上田高校らしいというか…。

直前、前の週に文化祭だった6クラス以上の大規模な高校はすべて感染拡大により休校という情報が入ってきました。本当に制限な



松尾祭の合唱コンクール

しの一般公開をするのか、飲食物の販売もするのか、職員も生徒も議論しました。その上で、十分に注意して予定通り開催の決定をしました。

開祭式では、「みんなは、ホストでお客さんではない。混乱を招かないように気を配る側である。他校は軒並み休校になっている。でも我々にはコロナ禍を乗り越えてきた知恵がある。いくらでも工夫はできる。これで感染拡大しなかつたら、かっこいいよね」と訴えました。そして、本校は顕著な感染拡大はなく、見事に休校は回避されました。

「周到な準備をして知恵と工夫で困難を乗り越える」上田高校生の力に感動しました。

### 参加しやすい生徒会

生徒会長 坂本浩平



123期生徒会長の坂本浩平です。私が目指す生徒会は「生徒主体で誰でも参加しやすい生徒会」です。その実現のため、SNSなどを活用し、皆さんからの情報収集や生徒会からの発信、更には対面での話し合いの場を設けるなどして、集まった意見などを基に

生徒主体で誰でも参加しやすい生徒会」です。その実現のため、SNSなどを活用し、皆さんからの情報収集や生徒会からの発信、更には対面での話し合いの場を設けるなどして、集まった意見などを基に

### 一瞬一瞬が青春

松尾祭実行委員長 宮澤幸大

今年の松尾祭は『D A W N!!』をテーマに、これまでの伝統と各々の個性を織り交ぜた新しい文化祭を目指し、一人一人が常に自分ができることを考え行動し、全校一丸となって成功させました。新型コロナによる制限が緩和され、体育館での声出しが解禁され、各イベントで多くの歓声上がり、全校が一つとなって盛り上がりました。

アンデパンダンでは各クラス協力し、時にはぶつかり合いながらも最後まで頑張る姿が多く見られ、個性あふれる作品ができました。今年是有志の模擬店を行うこと

生徒会を運営していきます。しかし、中には生徒会を好ましく思わない方もいると思います。私はそういう方々の意見も真摯に受け止めて、生徒の希望を叶えられる生徒会を作っていく所存です。また、生徒の意見を学校に反映していくためには皆さんの大きな力が必要です。ぜひ、ご協力をよろしくお願いたします。また、OB・OGの方々の力をお借りすることもあるかと存じます。その際はどうぞよろしくお願いたします。

生徒会を運営していきます。しかし、中には生徒会を好ましく思わない方もいると思います。私はそういう方々の意見も真摯に受け止めて、生徒の希望を叶えられる生徒会を作っていく所存です。また、生徒の意見を学校に反映していくためには皆さんの大きな力が必要です。ぜひ、ご協力をよろしくお願いたします。また、OB・OGの方々の力をお借りすることもあるかと存じます。その際はどうぞよろしくお願いたします。



ステージ発表



とができ、好評を多くいただきました。多くの方々の協力のおかげで最高の松尾祭にすることができました。ありがとうございます。来年度も松尾祭が多くの上田高校生にとって良き青春となるようご協力お願いたします。



# 上田高校 NOW

CDなどで流れる校歌を歌う機会がほとんど、2、3年生は歌う機会がほぼなく、

CDなどで流れる校歌を聞いていただけのことが多かった。「まずい」と思い、校歌の歌詞の意味をじっくり考えることから始めようとしていた。卒業式や行事などで校歌を歌う機会が戻ったのだが、生徒たちが歌えないことに驚いた。考えてみると、2、3年生は歌う機会がほぼなく、



令和5年度はコロナ禍においてあった制限がほぼなくなった。そんな中、4年ぶりに式典や行事などで校歌を歌う機会が戻ったのだが、生徒たちが歌えないことに驚いた。考えてみると、2、3年生は歌う機会がほぼなく、



## 上田高校校歌 2学年担任 小林賢太郎

歌を聞いているだけのことが多かった。「まずい」と思い、校歌の歌詞の意味をじっくり考えることから始めようとしていた。卒業式や行事などで校歌を歌う機会が戻ったのだが、生徒たちが歌えないことに驚いた。考えてみると、2、3年生は歌う機会がほぼなく、

## 生活体験発表大会 定時制 教頭 横田真

校の代表として参加した2名の生徒たちも堂々とした発表を見せてくれ、1名が10月の県大会に出場することになりました。

## 守破離

1学年 (124期生)  
神津純 (77期卒)

利休いわく「規矩作法 守り尽くして破るとも離るとも本を忘るな」。

「守」師の教えに従う、「破」師の教えに己の工夫を加味する、「離」新境地へ駆け上がる。地道に基礎を学び、それをしっかり考察し、自分のための学びとする。そんな生徒になってもらいたく「守破離」を学年目標にしました。

教員は二人の人間を見ると整列させたがると押揃われます。「守」ではそれはとても大切なことだと思えます。しかし、「破」を経て「離」に至るまでには我々が号令せずとも、並ぶことも単独になることも、自らの意志で判断できるようにされるのが本校の生徒であり、124期生もそうなるはずだと信じています。生徒とともに我々も



成長したいと思えます。

## 3年生は今

3学年主任 丸山賢一

3年生は今、来年1月に行われる大入学生共通テストおよびその後実施される私立大学入学生試験、国立大学2次試験に向けて一生懸命勉強しています。



毎週月曜日に行われている「世界史」放課後補習

この生徒たちの姿は、「至高の望」と「至剛の誇」をもって「試百難」(困難から逃げない、周到な準備をする、最後まで粘り抜く)に重なります。



# 上田高校 NOW

これからの班活動に向けて

柔道班主将 小林希綺

私たちが柔道班は、顧問の久保田先生、副顧問の松本先生の指導の下、班員4名で活動しています。班員のほとんどが高校から柔道を始めた初心者です。現在は、3年生が引退し、1年生が加わった新しいチームで活動し

ています。班長になって感ずるのは先輩の偉大さです。今年の3年生最後の大会では団体戦で県3位を勝ち取り、北信越大会出場と、先輩がチームを引っ張ってきてくれました。今度は、2年生がチームを引っ張り、先輩が繋い

だものを引き継いでいく番です。日頃の稽古では、2年生で毎日稽古を考え、お互いの課題を指摘し合い、より質の高い稽古を心掛けています。目標は、北信越大会出場です。柔道の目的は「精神力・自他共栄」であり、文武両道を目指し、がんばっていきたいと思います。



2022.12.19 第4回文武両道杯全国高校柔道大会 女子団体3位 於 講道館



2023.6.3 長野県高等学校総合体育大会柔道競技大会 女子団体3位 於 駒ヶ根市武道館

全国高等学校ダンスドリル選手権大会2023  
HIP HOP 女子部門 Large 編成 第3位

ダンス班顧問 石濱優季

毎年夏に行われる全国高等学校ダンスドリル選手権大会は3年生にとつて最後となる、とても大切な大会です。6月に行われる甲信越大会において一定の成績を得られなければ出場することができないため、班員たちは年度の変わる前から振り付けや曲などを考えてきました。

「ダンス」と聞くと美しさや表情が審査の対象というイメージがあるかもしれませんが、決してそれだけではありません。全体で見ただけではありませぬ。全体の豊かな動きのバリエーションの豊かさや、曲とダンスの相性、そしてダンスに適した衣装かどうかまで審査の対象となります。班員たちはミーティングを重



ね、自分たちの納得できる作品になるまで試行錯誤を続けてきました。そして本番当日、静まり返った場内でポーズをとる彼女たちの表情は、今までの努力に裏付けられた自信に満ちていました。結果は目標には届かず3位でしたが、先輩たちの意志を受け継ぎ、1・2年生は冬の大会に向けて努力を続けています。

# 小山さん(76期)にOPEC賞

## エネルギー研究にますます精進



日本エネルギー経済研究所専務理事・首席研究員の小山堅さん(76期、上田市出身)がOPEC賞(研究者部門)を受賞した。アジアからの受賞は初めて。

OPEC (Organization of the Petroleum Exporting Countries: 石油輸出国機構)は、輸出国の利益を守ることを主な目的として1960年に設立された。OPEC賞は、石油産業の発展や知識普及に顕著な貢献をした個人を表彰する。小山さんは、国際エネルギー情勢の分析とエネルギー政策の研究で著名で、国際石油市場に関する解説や著書などを長年にわたり発信してきたことが評価された。

「今回の受賞は、私にとって信じられないほど光栄で名誉なものでした。」

過去の受賞者は、エネルギー研究の分野の『レジェンド』ともいえる先達ばかりで、最初に受賞の話を聞いたときは、まさに信じられないほど驚き、また心から嬉しく思いました。今後もエネルギー研究の分野でますます精進していきたいと思っています」と小山さんは受賞の喜びを語った。

参照 <https://www.nikkei.com/article/DGKKZ07461348>  
OR20C23A9EAC000/

## 会員交流委員会より

新体制になり、会員交流活動はこれまでの「会員交流委員会」と「女性同窓生交流委員会」が統合していっしょに行うことになりました。会員それぞれの年代、ジェンダー、職業などにもなうニーズを把握しながら、それらの垣根を越えた活発な交流の場を提供するのが目的です。

また、「赤松小三郎研究会」「やまびこ句会」「絵画同好会」「ゴルフ同好会」などの同好会活動を継続しさらに充実していきたいと思っています。新しい同好会創設も

行いたいと思いますので、どうぞご希望をお寄せください。

去年は葛飾柴又探訪を実施、今年7月にはシアターを貸し切つて映画「ひまわり」の鑑賞会を行いました。どちらも参加者から好評をいただきました。こうしたイベント活動をより活発に行っていきます。これまでにご要望のあった美術館・博物館めぐりや街並み散歩などのほか、ワールドカップで盛り上がったラグビーのトップリーグ観戦ツアー(専門家によるルール解説付き)など、女性や若い世代をねらった企画も考えているところです。来年2月か3月には女性同窓生交流の会も計画しています。具体化したら関東同窓会ホームページなどでお伝えしたいと思います。

掛川治男(73期)

## 松尾俱樂部

### 上田市長新春講演会

「松尾俱樂部」はコロナ禍で活動を休止していましたが再開します。再開第1回(174回例会)として2月24日(土)、現役の上田市長・土屋陽一様(73期)をお招きして、上田市の現状を語って

いただきます。

合併により人口17万人、人が輝き、活気に満ちた、風格・魅力のあるまちのコンセプトで「ワーケーション」対応に力を入れ、「上田市のいま」とともに上田祇園祭、上田わっしょい、信州上田大花火大会など魅力のある楽しいお話が聞けると思っています。

倶楽部会員には会報のご案内しますが、同窓会会員でご興味のある方はぜひ、お問い合わせください。

- 代表幹事 近藤正昭(69期) [ayafuji@fujienal.ne.jp](mailto:ayafuji@fujienal.ne.jp)
- 副代表幹事 宮島光男(55期) [michan10@ksh.biglobe.ne.jp](mailto:michan10@ksh.biglobe.ne.jp)
- 副代表幹事 笠井徳爾(61期) [kasait@ruby.dti.ne.jp](mailto:kasait@ruby.dti.ne.jp)
- 松尾俱樂部ホームページ: <https://matsuo-club.jimdo.com/>

**会員短信**  
62回総会の出欠はがきより

関東同窓会の益々のご発展を祈願します。

**51期 保坂 利勝**  
足が痛くて本当に残念です。上田へも行っておりません。同窓生のご健勝を祈念いたします。

**52期 佐藤 健一**  
老齢で足元がおぼつかなくなり、ご盛会を祈ります。

**54期 深井 克彦**  
昨年、テニス全日本大会(85歳の部)で優勝できた。老への挑戦として90歳までテニス続けられればと思います。

**54期 大日方 真**  
大学を卒業して日本アイ・ピー・エムに就職、それからずっとコンピューターとITにかかわっています。1971年にITの会社を設立しました。今年は52年になります。趣味で水彩画を描いています。興味で水彩画を描いています。集大成の企画と思って準備しています。

**58期 青木 淳**  
東大病院からの認知症の進行にブレーキをかける薬を毎日1粒飲んでいますが、ブレーキどころか却ってアクセルを強く踏んでいるようです。

**45期 森 茂**  
高齢の為、外出もままならない状態です。

**48期 吉村 功**  
高齢のため出席出来ませんが、



**58期 山邊 光一**

上田郷友会幹事をしています。毎月第一木曜日午後、例会を開いています。新入会を歓迎します。

**59期 有賀 勝雄**

3年ぶりの従来方式の総会。母校吹奏楽班の演奏と出席者との歓談が楽しみ。近藤執行部の皆さん、コロナ禍でのお役目遂行ご苦労様でした。今後も関東同窓会の一層の発展を祈念します。

**59期 滝沢 叡**

出掛ける機会が少なくなり寂しい限りです。

**59期 柳澤 建夫**

80歳になりましたが、埼玉県で省エネナビゲーターの仕事が続け元気にしております。温暖化・異常気象の多い昨今、中小企業に伺い省エネ診断・指導を実施し、カーボンニュートラル達成への一助とすべく、微力を注いでいます。

**60期 小山 比呂志**

吹奏楽団OB会「松奏会」会員です。当日の盛会を祈りつつ。松奏会は設立10年目になりました。

**60期 松井 石根**

近藤会長、コロナ禍の会長ご苦労様でした。

**60期 塚田 晃**

体の都合で出席できません。残念です。コロナは一段落しました

が油断することなく、自愛下さい。

**61期 笠井 徳爾**

70期代の会長誕生、新執行部のチームワークに期待します。

**62期 岩井 重一**

コロナ禍での3年間の近藤会長はじめ執行部の皆さんの同窓会運営、誠にお疲れさまでした。オンラインのリモート対応など、種々しつかり取り組んでいただき感謝しております。久々のリアルでの総会、懇親会ですので、参加いたします。

**62期 田口 象二郎**

体調不良につき参加不能です。盛会を祈念!!

**62期 片山 隆行**

同期の依田さんがご逝去され残念です。絵画クラブ会長の諸岡さんの会報記事に感謝です。依田さんには同期のまとめ役で活躍いただきました。ありがとうございます。

**63期 山浦 善樹**

神田淡路町駅近くで、コツコツと対人援助（お気の毒な弁護士）で汗を流しています。

**63期 山極 真咲**

今回、初参加します。吹奏楽班のOBとしてコンサートを楽しみしております。

**64期 清水 計枝**

同窓会報を楽しみに読んでいます。同窓生の活動がわかって良いですね。竹内遥香さんのハーブコンサートは、信州で2回聴きに行きました。なかなか良かったです。

**65期 宮原 豊**

近藤会長をはじめ執行部の皆様、お疲れさまでした。同窓会が継続していくには若い人達（後輩）がワイワイ楽しく参加してもらうことですが、そのためには先ず執行部の皆様が楽しくなければなりません。皆様がコロナ禍等で厳しい環境の中をさまざま新しいチャレンジをされ、後輩に今後の運営について道を開かれましたことに感謝いたします。

**65期 丸山 暢久**

第53回の折、当時の役員方と松奏会の設立に合わせた企画をし、併せて65期の元応援団諸氏の協力を得て久しぶりにブラバンの演奏で校歌を唄った記憶が思い出されます。

**65期 上原 昇**

コロナ禍のなか数々の新しい取り組みや見直しを行った近藤執行部の皆さん、ご苦労さまでした。

**66期 柳澤 公雄**

昨年、父の遺品整理で従軍の記録書類や書簡がたくさん見つかり、その整理、筆耕に励んでいます。15年戦争の真ただ中を駆け抜けた父の生きざまや戦地の様子を追体験しているような不思議な気持ちです。特に現在の日本のありようは、父の青年時代と非常に似通っているのを感じ、心配しています。

り、その整理、筆耕に励んでいます。15年戦争の真ただ中を駆け抜けた父の生きざまや戦地の様子を追体験しているような不思議な気持ちです。特に現在の日本のありようは、父の青年時代と非常に似通っているのを感じ、心配しています。

**69期 箕輪 保幸**

山歩き、ボウリング、囲碁をバランスを取って楽しんでおり、最近はスポーツ吹き矢も始めてみました。手軽に始められて健康増進も期待できます。

**71期 小林 英夫**

同級生の上野の森での絵画展の折々に集まり、上田の昔に戻っています。

**72期 中澤 治**

元気に現役。少し学生もしています。親友であり最良の理解者は孫です。

**75期 村山 絹子**

初めて同窓会に参加させていただきます。現在、大学構内にある国際医療福祉リハビリテーションセンターボランティアに勤務しています。

**75期 一之瀬 康利**

定期的に音楽活動しています。ボーカルとドラマーがいまません。どなたか歌をうたうのがお好きな

方、老若男女問いません。お声掛け下さい。

### 土屋綜合法律事務所

弁護士 土屋 文男 (69期)

〒102-0073  
千代田区九段北1-3-3九段下東急真サビル4階・8階  
TEL: 03-3512-0211 FAX:03-3512-0214

#### 株式会社 一秀

代表取締役 木村 公平 (63期)

〒210815 東京都足立区島根2-31-23  
TEL: 03-6869-1131  
FAX: 03-6869-5713

司法書士法人

リーガルオフィス白金

代表社員 飯田 茂幸 (90期)

〒108-0072 東京都港区白金1-2-5・13  
TEL: 03-6277-3413  
FAX: 03-6277-0608  
アインス白金402



矢島会長からカンパを受け取る尾台さん（右）。中央は高野先生



吹奏楽班の皆さんと記念撮影の矢島会長

矢島会長は「後輩の素晴らしい演奏に、年配の先輩も含め大いに感動し、大変喜びました。そして心のこもったカンパが集まりました。有効に活用してください。そして練習に励んで、今後も活躍してください」とあいさつしました。

その後、矢島会長は他の吹奏楽班職員とともに記念撮影。秋晴れの中、すがすがしい気持ちで母校を後にしました。

## 吹奏楽班へ カンパ 10万円

上田高校関東同窓会から吹奏楽班へカンパ10万円贈呈のため10月28日、矢島基美会長（72期）と平林一央幹事長（75期）が母校、上田高校を訪問しました。このカンパは6月24日、東京都千代田区の如水会館で行われた第62回総会のアトラクションで、素晴らしい演奏を披露、大きな喝采を浴びた同班に対し総会に参加した同窓の有志から寄せられたものです。

これに対し、吹奏楽班班長の尾台真央さん（2年）は「本日は遠いところからわざわざお越しくださいありがとうございます。総会で演奏するという場を設けてくださって、貴重な経験をさせてください。感謝しても感謝しきれません」と応じました。

顧問の高野浩志先生も「感謝申し上げます。総会で演奏して、応援していただける方々のエネルギーを感じました。うれしく思っています。これからも見守ってください」と笑顔で話しました。

## 第63回総会に向けて 実行委員会が発足

2023年10月4日、「アットビジネスセンター―東京駅八重洲通り」にて、次回総会（2024年6月29日）の実行委員会が発足しました。主幹事期の76期から2名、副幹事期の81期から1名、86期から1名が参加し、役員から加りました。

平林一央幹事長が、総会概要（会場と当日の流れ）、実行委員の役割、本番までの主な予定、7月に行われた総会反省会でも出された課題等の説明を行いました。特に、参加された76期の2名は、この総会反省会にも出席されており、しっかりと理解されていることが確認できました。続いて、各期の組織化状況等について、情報並びに意見交換を行いました。第63回総会は、前回と同じコロナ禍以前の形式で行うことで準備を進めることになりました。しかし、若手会員の参加を促すための「変化」を加えることも検討しています。また、物価高が大きな課題であることも認識しています。実行委員は5年に1度の大役ですが、さまざまな準備を通じて、同期の絆を深める機会でもあることを確認して、散会しました。

## 寄付者／寄付グループ

(2023年4月1日～2023年9月30日)

### ご協力ありがとうございました！

期	氏名	金額(円)	期	氏名	金額(円)
44	中村 司	10,000	59	堀部孝久	2,000
49	小林恒雄	2,000	60	袖山 脩	3,000
49	青木喜久彌	2,000	61	坂井英樹	1,000
52	若林英鋭	4,000	62	宮坂信章	8,000
54	小林勝利	10,000	62	佐藤澄江	1,500
55	宮島光男	3,000	62	小山平六	8,000
56	笹沢政道	2,000	63	神林英男	10,000
56	神津 進	2,000	64	村居次雄	5,000
57	宮下廣勝	2,000	65	上原 昇	20,000
57	田沢雄二郎	2,000	66	田口 博	8,000
57	高木佳年	3,000	67	石井 豊	2,000
58	宮原清明	2,000	71	小林秀一	8,000
58	金子親碩	8,000	75	有志一同	6,000
58	山邊光一	2,000	81	毛利元晶	5,000
58	青木 淳	12,000	86	三好英次	3,000
				合計	156,500



## 石森 博行 (97期)

弁護士

〒180-0001 東京都武蔵野市吉祥寺北町1-1-2  
 トラッセルズ102号 石森法律事務所  
 TEL: 0422-24-7722 FAX: 050-3737-6939  
 E-mail: hiroyuki.ishimori@ishimori-lo.com  
 Website: <https://www.ishimori-law-office.com/>

## 上中居ファミリークリニック

### 医学博士 清水 雄至 (79期)

〒370-0851  
 群馬県高崎市上中居町411  
 TEL: 027-326-4155 FAX: 027-326-4156  
 E-mail: yujikiyomilistiger62@gmail.com



# 白井透さん (60期) が7月9日に逝去



7月9日11:00 a.m. 携帯着信音。画面を見ると発信人は白井の奥さん。とうとう逝ってしまったか、俺の方が早いと思っ

いたのに……自分は昨年5月1日掛かりつけの病院に緊急入院、白血病の疑い大、然し当院には専門科無し、状況見ての転院を告げられる。直ぐに白井にTEL、同期で元東京女子医大教授黒沢に連絡を頼んだ。結果5日退院、6日女子医に転院できた。自分で依頼せず彼にふったのは白井効果を狙った故。病名は急性骨髄性白血病、年齢的に骨髓移植できず完治不能、併せて余命宣告も受けたが治療をすれば余命も伸びますと……49日間入院、その後は通院、入院を繰り返し余命宣告期限は一先ずクリア。彼にはそろそろ感で月一ペー

ス連絡を取り、最後は亡くなる一月ほど前だった。彼の前立腺がんに関し俺には以前から多くを語らず、只発見が遅かった、デモ、物理的治療はしてないと云った程度、何故なのか不思議に思っていた。没後同期の同病仲間から聞いたが、PSA値が4年前で60、最後は大腿骨転移、彼がTELに出ぬ時は奥さん携帯に直電。薬は最高に強きものに、何時亡くなっても、覚悟はできて

眠、故に苦しまず、それが救いでしたと。そして主人の高校友人は俺しか知らぬと諸々依頼されたが私に代わり60期代表幹事の沓掛に全面的に委託。白井は軽井沢出身で汽通、入学後野球部入部を望むも当時の井出監督から下宿でもしなければ部活は無理と云われ入部断念。卒後東大目指すも叶わず駿台予備校へ、翌年も失敗、横浜国大への選択肢ももったが、東大での野球を夢見、入学に3年かかった。入学後直ちに野球部へ。然し出ると負けの東大でも流石に高校球歴無しではと承

諾得られず。最終的にはマネージャーの道選択で入部。卒後はみずほ銀の前、前身、勧業銀行へ勤務も上司と喧嘩、(上司の馬鹿さ加減に辟易し)東急不動産へ転職しそこで定年。社会人時代、退職後も毎年神宮の6大学シーズン券購入、又、可能な限り大学グラウンドへ自転車足で運んだ。彼とは在学中全く面識なかったが退職後60期ゴルフ会に誘われそこで知り合う。彼の同窓会関与は名球会で同窓会役員、且つ名球会会長成田邦夫さん(56期)と知り合い、成田さんの強い押しで「鷹野が副を受けてくれたら会長受ける」と2008年から同窓会長に。二人共それ以前、全く同窓会に無関心人間、されどそれ以降、白井との接触は異常に増えた。同窓会関与、他ゴルフ飲み会他。長野へも我が車で長年にわたりよく行った、現役野球部の応援、演奏会、他、同期友人と飲んだり、泊めてもらったり、湖沼、高原、墓参、そして帰りにはその時々的大量の野菜を買ったり、細かな事言わず(上田に行くか、何時?)で会話終了。そんな仲となった白井が旅立った。

彼の冥福を祈る 鷹野芳機 (60期)

【彼の会長時代】★総会時受付票作成(参加費、年会費、寄付、他欄受け付け)★不参加名札の都度作成★上田本部との関係強化(会長白井同級生、関西、中南支部も60期)★総会時の書籍、作品、他直売★初女性座談会企画★総会以外、講演、演奏会等イベント付き新年会創設★60期の小金井カントリーゴルフへ同窓生受け入れ★白井就任で60期結束固め以降中核集団★全会報CD化完成(64期石井則夫さん貢献大)★財政健全化(寄付、広告、会費付票活用効果)★広告、寄付依頼文章の具体例次期引き渡し★白井メール網・人物、作品、書籍、コメント他、白井が個人的に行ったがこれによる同窓会関心高揚効果大だった

★その後松尾倶楽部会長就任

## 訃報

### 心よりお悔やみ申し上げます

(上田高等学校同窓会本部からの情報を含みます)

期	氏名	逝去日	期	氏名	逝去日	期	氏名	逝去日
47	井出 周利	2023年2月18日	50	松岡 宏吉	2022年1月2日	62	室賀 太郎	2023年8月30日
48	川上 道輔	2023年2月28日	51	福澤 譲時	2022年12月16日	62	片山 登喜男	2023年8月2日
48	柿崎 真吾	2022年3月31日	51	清水 順	2023年7月15日	63	内山 宗芳	2023年8月8日
49	小林 斉之介	2023年4月5日	52	柳沢 信吉	2023年4月9日	65	大野 正広	2023年1月20日
49	石塚 民雄	2023年5月2日	58	桜井 成樹	2022年12月20日	66	小林 周一	2022年9月28日
50	間庭 秀人	2023年3月13日	59	小林 賢一	2023年7月			
50	児玉 忠雄	2023年2月9日	60	白井 透	2023年7月9日			

## 編集後記

あけましておめでとうございます。昨年はロシアのウクライナ侵攻による戦争、イスラエルとパレスチナの紛争、円安、物価高と暗いイメージが漂う一年だったかな、と思います。「新しい戦前」という言葉も生まれました。一方で、ワールド・ベースボール・クラシックでの日本の優勝、プロ野球・阪神タイガースの38年ぶり日本一、将棋の藤井聡太さんのタイトル八冠奪取など明るい話題もありました。皆さんは、いかがお過ごしでしたでしょうか。今年ほどどんな年になることでしょうか。▼昨年10月、第62回総会で素晴らしい演奏を披露した吹奏楽班に、参加された同窓生の方から寄せられたカンパを届けるために、上田高校を訪れました。久々の母校、はつらつとした後輩たちと会って心が洗われるような気がしました。自分の高校時代はどうだったのか思わず振り返りました▼今回、初めて関東同窓会の会報の編集に携わりました。いろいろ分からないことや不慣れなことが多く、原稿をお寄せ下さった方々や編集に協力してくださった方々に多大の迷惑をかけてしまいました。皆さんの助力のおかげで、ここに何とか発行できてほっとしているところです。今後、どんな会報にしていけば、皆さんに読んでいただけるのか試行錯誤が続きます。こんな記事を読みたい、こんな企画があったらいいな、などアイデアがあったらどうかお寄せください。積極的な同窓会への参加をお待ちしております。そして常に進化する会報を目指して努力していきたいと思えます。今後とも、どうかよろしくお願ひします。(中村和久)



## ジャーナリズムを支えるのは

朝日新聞論説委員 田玉恵美さん (93期)

今回登場していただくのは、朝日新聞社で論説委員として活躍中の田玉恵美さんである。東京都中央区築地にある朝日新聞東京本社で話を伺った。

高校時代は、どこの班にも所属していませんでした。あまりいい成績で入学したとは思えなかったので勉強に集中したかったです。出身中学の四中ではバレーボールをやっていたので、バレーボールを見学しには行きましたが、一番の思い出は、冬の冷え込む季節、通学途中、自転車で上田橋を渡るとおでこが凍り付いて、1時間目は何も考えられなかったことです。歴史の授業の時、先生の前で大あくびをして怒られてしまいました。

学校では不思議な感じがしました。変に男社会のような気がして、男子が粋が

っていて、女子は付属しているような感じでした。頑張る男子を女子が応援して、女子はきゃぴきゃぴしていなきゃと思っていました。男子がエリート意識を持っていて、なじみたくない感じがしました。

大学では社会学を専攻し、社会に出て役立てると思い、かなの書道部に入りました。大学を卒業し新聞社に入ったのは、子供のころニュースソースは新聞で、読むのが好きでしたから。書くのも好きで、特に人にもものを書くのが好きで、ずっと勉強し続けることができると思ったので。

出だしは横浜総局で警察や高校野球を担当、その後、福島総局で県の

政治を伝える役割を経て文化部へ。そこでは放送業界や読書面の記事を書き、社会部でのメディア担当、文化部のデスクを経験し、今は文化関係の社説を担当しています。

社説は世の中で起きていること、注目されていることについて社がどう考えているか伝える場所です。言うべきことは言わなければならないと思います。最近では将棋の藤井聡太八冠が最年少名人になったとき担当しました。藤井八冠がすごいとか、めでたいということは誰でも書くことができる



と思いますが、将棋に対するこれまでにない見方を提示したいと思いました。将棋はあまり分かりませんが、将棋を通して伝えたいもの、社会が何か学べるものがあるか、大きな目線で書いています。

同窓生の方に訴えたいのは、今ジャーナリズムというものを、どうやって社会が支えていくかが大きな課題になっていると思います。新聞を支えていたジャーナリズムの基幹を、これから誰が支えていくのか気にしてほしいと思います。ジャーナリズムは社会に必要なもの、これからどう支えていくのか聞きたい。

後輩の皆さんには「世の中に流されるな、空気に流されずに、自分で考えることが大切だ」と訴えたい。

終始、にこやかな表情で取材に応じていた田玉さんでした。

(取材日：2023. 10. 20、  
編集長・中村和久)



### 住所変更があったらいずれかでご連絡ください

- ① 関東同窓会ホームページ「同窓会への連絡」から  
(個人情報は厳重に管理しております)
- ② 関東同窓会日本橋事務所へ 電話：03-5201-3979
- ③ 同期の代表幹事へ

### ホームページをご活用下さい

関東同窓会のホームページ (<https://uedakant.sakura.ne.jp/>) には毎日たくさんのアクセスがあります。IT 推進委員会経由で関東同窓会の活動や会員の動向などの頻度の高い情報発信を心掛けています。ぜひご活用ください。

